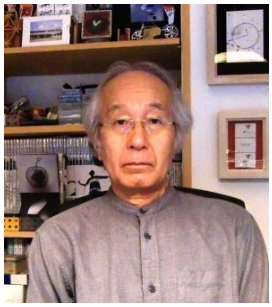
（公社）兵庫県建築士会　姫路支部

支部だより　11-12月号

姫路支部会員紹介

和田修二環境建築工房　和田修二

今月は、姫路支部理事で国内外の数多くの有名建築作品を見聞され、様々な建築家とも親しくされている和田修二さんに寄稿いただきました。



建築に関わってから半世紀になろうとしています。1970年の大阪万博の年に明石高専建築学科に入学し、兵庫県の県庁舎1号館や先頃解体されてしまった日本真珠会館等を設計された元兵庫県営繕課課長の光安義光先生に建築家としての姿勢や生き方を教えていただきながら過ごした5年間でした。在学中は授業が終わった後に当時神戸三宮のトアロードにあった光安先生のアトリエを訪ねることもよくありました。

卒業後は迷うことなく設計事務所に就職することに決めました。しかし最初に勤めた神戸元町にあった吉田武藤建築研究所は私が想像していた設計事務所の雰囲気とは異なり、私にはとても窮屈に感じ、所長の考え方にも合わず10ヶ月で退所することになりました。この時も光安先生に相談し、次の就職先である神戸では置塩設計事務所についで歴史のある笠井設計を紹介して頂きました。1級建築士の受験資格までの4年間は設計事務所の業務をこなしながら休日には、新しい建築や美術館などを訪れたりして過ごしました。そんな時、偶然に見つけた阪急三宮近くにあるコンクリー打ち放しのビルの1階に重厚な扉で構えられた、今は無きバー「でっさん」を訪れました。

「でっさん」は、加納町3丁目にあった「アカデミーバー」に次いで古い神戸を代表するバーで「鴨居玲のピエロ」が迎えてくれます。

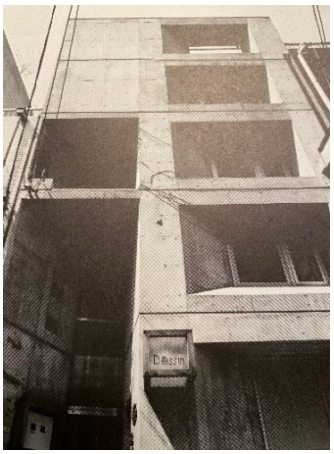


写真１　「でっさん」の外観
1974年　撮影：松村芳治

写真２　「でっさん」の内観
撮影：松村芳治

写真３　画家 鴨居玲の「ピエロ」

何度か通ううちに設計者である武田則明氏を紹介して頂きました。武田氏は神戸大学出身で大手設計事務所勤務の後、神戸に戻られ、先輩にあたる水谷穎介氏が主宰する都市計画設計研究所を経たのち、自宅アトリエで仕事をされていました。ちなみに安藤忠雄氏も若き頃にアルバイトとして都市計画設計研究所に出入りされていたので、武田氏とも親しい間柄でした。武田氏とも何度かお会いするうちに自宅を訪れては長い時間、建築や芸術についてご教授いただきました。またバー「でっさん」では画家、鴨居玲氏を始めとする多くの芸術家とも知り合うことができました。

和田修二環境建築工房　和田修二

そんな日常を過ごしながら1級建築士試験合格を機に笠井設計を退職し、武田氏に師事することを決めました。ちょうど武田氏も三宮に事務所を構えようと考えておられ時で、旧居留地の「大興ビル」の3階に事務所を開かれ、私は最初の所員として勤めることとなりました。事務所では基本設計・模型製作・実施設計・見積調整・現場監理までの全ての業務をひと通り経験しました。京都亀岡に建築した彫刻家「山口牧生氏のアトリエ」は、内外コンクリート打ち放しの建物で現場監理には事務所からバイクで通ったりもしました。

写真４　旧居留地　大興ビル　（現存せず）

写真５
山口牧生アトリエ
（右から）
武田則明氏
筆者
山口牧生氏
高階組の方々
1984年
撮影：松村芳治

当時は安藤忠雄氏が神戸北野町で仕事をされていた時期で、武田氏とも親しくされていたので、工事中の「リンズギャラリー」や、神戸長田の「住吉の長屋」よりも間口の狭い「茂木邸」の現場を見せていただいたり、六甲の集合住宅Ⅰ期工事の完成時には、安藤氏の案内で見学させていただきました。時には南京町で食事もご一緒させていただきました。毎年、年末年始には武田氏は安藤氏等と共に西澤文隆氏を団長としたインドをはじめとする海外視察旅行に参加されていて、帰国後はみんなでスライドを持ち寄ってそれぞれがレクチュアーする会にも参加させていただきました。

写真６　現在の茂木邸

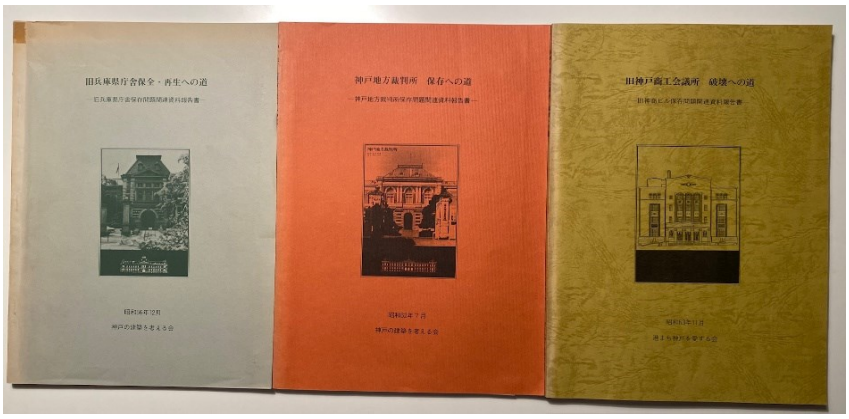


写真７　保存報告書３部作

武田事務所では、神戸の歴史的建築物の保存運動にも関わり、旧兵庫県庁舎は兵庫県公館として、神戸地方裁判所は外壁保存のうえ高層ビルに、旧神戸商工会議所は残念ながら解体されてしまいましたが、保存運動の記録は「報告書3部作」として残されています。そんな武田事務所での8年間を過ごしたのち1988年に独立を考え姫路に帰ってきました。

姫路支部会員紹介（続き）

和田修二環境建築工房　和田修二

まずは姫路での状況を知るために1年間の約束で地元の八木建築設計事務所のお世話になることにしました。八木建築設計事務所では日本で最初にボロブドゥール遺跡を調査した井尻進氏の遺徳を偲び建設することになった姫路今宿の「日本工芸美術館」の設計に携わりご子息の当時、池坊学園学長であった井尻益郎氏と建設にあたって色々な話し合いを繰り返しました。

写真８　日本工芸美術館 (外観）

写真９　日本工芸美術館 (庭園）

実施設計を終えたのち、退職し1989年に「和田修二環境建築工房」を開設することになりました。事務所開設後は住宅を中心に設計監理をさせていただき、「室津の家」では室津の町家の特色である意匠を受け継いだデザインを行なったことを評価していただき、第20回INAXデザインコンテストのテーマ賞や兵庫県の第2回人間サイズのまちづくり賞、平成17年度まちなみ住宅100選にも選定されました。

その他「白浜の家」、「御津町の家」、「田寺の家」「福崎町の家」など住宅のほかには、姫路城中ノ門通りの「森画廊」や「上月時計店」などの設計監理をさせていただきました。

写真10　室津の家
1996年　撮影：松村芳治

写真11　白浜の家
1992年　撮影：高橋裕嗣

写真12　御津町の家
2007年　撮影：玉森潤一

和田修二環境建築工房　和田修二

写真13　田寺の家
2007年　撮影：玉森潤一

写真14　福崎の家
2009年　撮影：玉森潤一

写真15　上月時計店（外観）
2007年　撮影：玉森潤一

写真16　上月時計店（内観）
撮影：玉森潤一

「森画廊」は姫路で画廊を営まれていた森﨑秋雄氏を紹介して頂き、画廊を始めるきっかけが「鴨居玲の絵と出会った事」とお聞きして直ぐに意気投合し、聞けば色々な機会に遭遇していたことを知り懐かしく語り会いました。約1年間をかけて打ち合わせを繰り返し、外観は額縁をイメージしたリブを廻し、森﨑氏から希望があった石材風の塗装は本物を扱う画廊がニセモノの材料で装う事はダメだと説得し、安価な吹付材ですが場所により粒子の厚みを変えてみたり、３階の進入口はもう一度ゼロからの出発の意味を込めて楕円形の開口部としました。2000年5月に竣工することができ、兵庫県建築士事務所協会の第6回くすのき建築文化賞をいただきました。

写真17　森画廊（外観）
2000年　撮影：松村芳治

もちろんオープニングの展覧会は鴨居玲展で始まりました。しかし残念なことに森﨑秋雄氏が2013年にご病気のために67歳の若さで亡くなられ、跡を継がれた奥様も2017年に亡くなられて現在建物は人手に渡ってしまいました。

森﨑秋雄氏は姫路に芸術文化を発展させようと自費で「美の風」という本を2003年より毎年出版しておられましたが2013年の最終号をもって廃刊となりました。森﨑氏と出会い、氏を通じてまた、たくさんの美術家とも知り合うことができました。

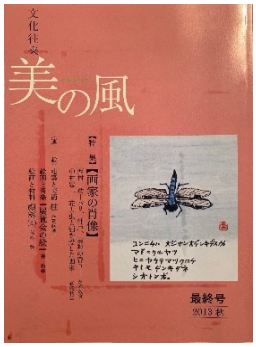


写真18　美の風
最終号

姫路支部会員紹介（続き）

和田修二環境建築工房　和田修二

写真19　森画廊（内観）
撮影：松村芳治

写真20　森画廊（内観）
撮影：松村芳治

現在、私は建築士会姫路支部の理事として、全国大会での見学先の選定や建築家講演会の人選などのお手伝いをさせていただいております。年が開けると古希を迎えますが、まだまだ建築に対する情熱は衰えていませんので、建築士会の若い皆様とこれからも語り合える機会があることを楽しみにしております。　　了

10-11月の活動報告

10.24（木）　建築相談（姫路市役所）
10.24（木）　構造学習会（オンライン）
10.25（金）　建築士会全国大会　鹿児島大会
～10.27(日)
11.28（木）　建築相談（姫路市役所）
11.28（木）　構造学習会（オンライン）

12月の活動予定

12.12（木）　構造学習会（オンライン）
12.14（土）　ﾌﾗﾝｸ･ﾛｲﾄﾞ・ﾗｲﾄを巡る旅　講演会
12.14（土）　姫路支部　忘年会
12.26（木）　建築相談（姫路市役所）

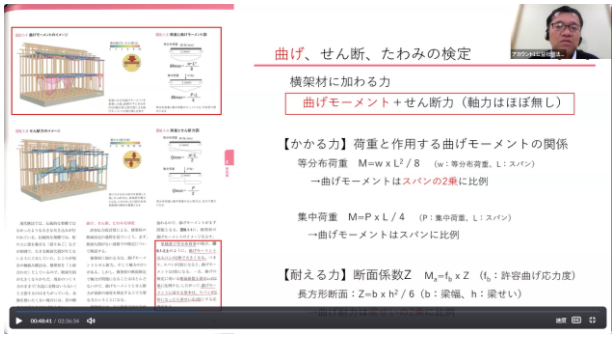
構造学習会2024　第６、７回開催報告

１０月２４日（木）１１月２８日（木）開催

2024年度構造学習会の第6回目を10月24日(木)、第7回目を11月28日(木)にZOOMオンラインで開催しました。

第6回目は「接合部の検討、引き抜き金物と周辺部材の重要性～柱頭・柱脚接合部の許容引張耐力の検定、土台の曲げとアンカーボルトの検定～」

第7回目は「鉛直荷重による横架材の断面検定～横架材の曲げ・せん断・たわみに関する検定～」というテーマで兵庫確認検査機構の景山先生に講義いただきました。



第7回ZOOM講義配信画面

受講生は第6回目が40名、第7回目が33名でした。欠席された方にはアーカイブ配信を行っています。

事業担当：石原

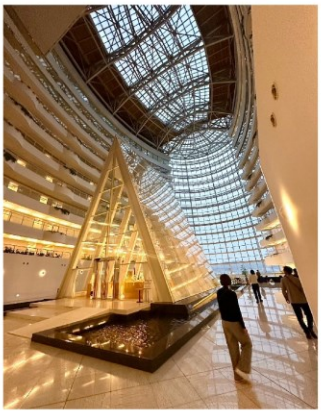
全国大会「かごしま大会」レポート　Part1

１０月２５日（金）～２７日（日）催行

建築士会姫路支部主催で全国大会「かごしま大会」への参加にあわせて、鹿児島県内の建築を巡るツアーを企画・催行しました。２泊３日の本研修ツアーを２回に渡り、姫路支部の上中氏に回想していただきます。

2024年10月25日（金）～27日（日）参加者16名で、建築士会鹿児島全国大会・研修見学会へ行きました。当初レンタカーを予定していましたが、参加者様の人数も増え、安全の為にバスをチャーターしての研修となりました。

1日目の研修では、全国大会会場見学後昼食。桜島を見ながらフェリーで東に移動し高崎正治氏設計の輝北 天球館を訪れた。30年も前に完成したとは思えない平面計画をバス内で解説を受け、実際に現地を見た時にハウルの動く城を思わせる奇抜なデザインに一同感動する。黒川紀章氏設計のホテル京セラの滞在時間は30分程度だったが、鹿児島を代表するホテルと有って、多くの宿泊者が訪れていた。皆、思い思いのアングルから撮影し真剣に学ぶ。夜の懇親会は毎回盛り上がる。真面目な会話も有り、バカな笑い話も有りながら交流は深まっていく。建築を学ぶ見学地の合間に、数分間のイルカショーや有村溶岩展望所など鹿児島ならではの観光地も訪れ楽しく過ごす事が出来た。



2日目・3日目は来月号に掲載予定です。

全国大会見学研修会担当　上中

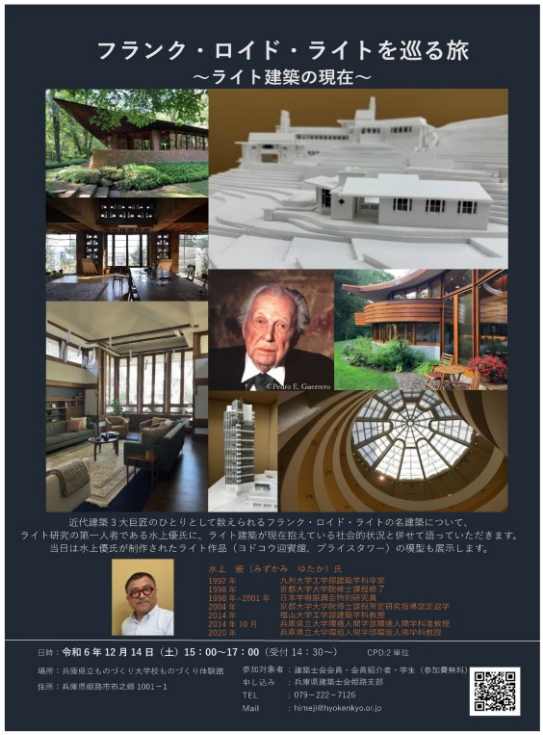
フランク・ロイド・ライトを巡る旅　講演会のご案内

１２月１４日（土）開催

　フランクロイドライト研究の第一人者で兵庫県立大学の水上教授による講演会を12月14日（土）に兵庫県立ものづくり大学校にて開催させていただきます。水上先生にはフランクロイドライト建築の魅力を未公開の写真も交えながら、解説していただきます。当日は水上先生がフランクロイドライト展で展示されていたヨドコウ迎賓館（山邑邸）の模型展示もさせていただきます。

　当日は建築士会姫路支部忘年会も開催します。
水上先生もご参加いただくことになっています。
忘年会のみのご参加も大歓迎です。

　お申込みは下記QRコードよりお願いします。



記

講演会

日時：　**12月14日（土）**　**午後3時～午後5時**
場所：　県立ものづくり大学校
テーマ：　フランク・ロイド・ライトを巡る旅
講師：　水上　優　教授（兵庫県立大学）
参加費：　無料

ﾌﾗﾝｸ･ﾛｲﾄﾞ･ﾗｲﾄの講演会はこちらか

忘年会

日時：　**12月14日（土）**　**午後6時～**
場所：　和みダイニング　亜蔵
　　姫路十二所前クリスタルビル２Ｆ
会費：　５，０００円

忘年会の申し込みはこちら